

小松原川東区防災マップ 計画規模



大雨時にとるべき行動

情報の種類と行動の目安

小浜市では住民の皆様の避難が必要と判断した場合、その緊急度に応じた避難情報を発令します。市から発表される情報に注意してください。
災害時に支援の必要な方が近くにおられる場合は、お互いに助け合って避難しましょう。

避難情報など		防災気象情報
警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 小浜市が発令
警戒レベル 4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 地域の状況に応じて緊急の又は重ねて避難を促す場合などに発令 小浜市が発令
警戒レベル 3	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 小浜市が発令
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など 気象庁が発令
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 気象庁が発令

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル5 では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3 や 警戒レベル4 で、地域の皆さんで声を掛けあって、安全・確実に全員避難しましょう。

適切な避難行動

避難の種類と行動

避難行動には、①避難所や、近隣の安全な場所（近隣のより安全な場所・建物など）への「立退き避難」、②「立退き避難」をすたえて危険な場合は、その時点に居る建物内でより安全な部屋などへ移動する「屋内安全確保」、③2階以上の高いところへ避難する「垂直避難」があります。

避難時の心得

- 火の元（コンロ、暖房器具、タバコ、線香など）と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。
- 動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。
- 深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。

凡例

- 避難所
- 避難場所
- 津波避難場所
- 防災無線
- 消防団小屋
- A E D
- 防災倉庫 (川東区)

津波避難について

地震による津波避難は、地震発生後に出される予想津波高の4倍の高さ（遡上高）まで避難するのが基本です。なので、県立大学方面に避難する場合、西津小学校の東側山中にある溜池を過ぎたあたり（下地図参照）が標高 12m 近くになるので、予想津波高が 3m の場合、その所まで行けば安全が確保できると考えられます。一度その所まで歩いてみて、どれくらい時間がかかるかを確認して、避難行動に役立ててください。

